

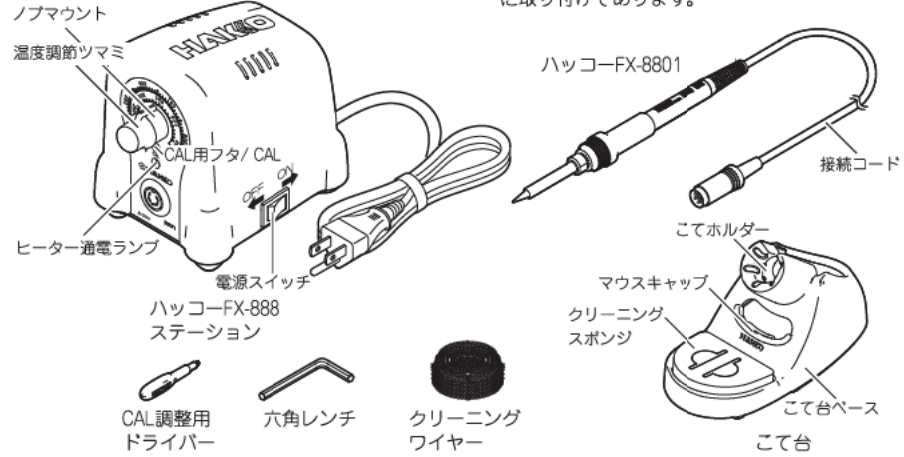
取扱説明書

このたびはハッコー FX-888 をご購入いただきありがとうございます。
お使いになる前に必ず本書をお読みください。
お読みになった後も、後日お役に立ちますので大切に保管しておいてください。

1. セット内容と各部名称

最初にセットの内容をご確認ください。

ハッコーFX-888ステーション	1	六角レンチ	1
ハッコーFX-8801	1	CAL調整用ドライバー*	1
こて台	1	クリーニングワイヤー	1
取扱説明書	1	※CAL調整用ドライバーはステーション下部に取り付けてあります。	



*ハッコー FX-888 にはハッコー FX-8802/FX-8803/FX-8804 が接続可能です。
*上記 (FX-8802/FX-8803/FX-8804) こて部をご使用の方は、専用のこて台をお使いください。

2. 仕様

品名	ハッコーFX-888
消費電力	AC100V 50/60Hz 70W
●ステーション部	
出力電圧	AC26V
制御温度	200~480℃
温度精度	無負荷時リップル温度±1℃
外形寸法	100(W)×120(H)×130(D)mm
重量 (除コード)	1.3kg

●ハッコーFX-8801 (こて部)

消費電力	ハッコーFX-8801 AC26V 65W
こて先アース間抵抗	< 2 Ω
漏れ電圧	< 2 mV
ヒーター	セラミックヒーター
コード	1.2 m
全長 (除コード)	217 mm (B型をつけた場合)
重量 (除コード)	46 g (B型をつけた場合)

※温度表示はハッコーFG-100で計測した温度です。
※本製品は静電気対策されています。
※仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがありますが、あらかじめご了承ください。

※各言語 (日本語、英語、中国語、フランス語、ドイツ語、韓国語) の取扱説明書は以下のURL、HAKKO Document Portalからダウンロードしてご覧いただけます。
(商品によっては設定の無い言語がありますが、ご了承ください)
*各言語 (日本語、英語、中文、法語、独語、韓語) の取扱説明書は以下のURLのHAKKO Document Portal 下欄参照。
(有一部分の產品沒有設定外語對應, 請見諒)
*Instruction manual for the language, Japanese, English, Chinese, French, German and Korean can be downloaded from the following URL, HAKKO Document Portal.
(Please note that some language may not be available depending on the product.)

<https://doc.hakko.com>

中国RoHS: 產品中有毒有害物質或元素名稱及含量

部材名稱	有毒有害物質或元素					
	鉛(Pb)	汞(Hg)	銅(Cu)	六價鉻 (Cr(VI))	多溴聯苯 (PBB)	多溴二苯醚 (PBDE)
焊錫部	×	○	○	○	○	○
電路板	×	○	○	○	○	○
插頭	×	○	○	○	○	○

○: 表示該有毒有害物質在該部材所有均質材料中的含量均在SJ/T 11363-2006 標準規定的限量要求以下。
×: 表示該有毒有害物質至少在該部材的某一均質材料中的含量超出SJ/T 11363-2006 標準規定的限量要求。

2011.9
MA01757XZ110901

3. 安全及び取扱い上のご注意

警告

この説明書では、注意事項を下記のように「警告」「注意」の2つに区分して表示しています。内容をよく理解されてから本文をお読みください。

- 警告: 誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
- 注意: 誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
- 安全のため以下の注意事項を必ず守ってください。

注意

- 電源を入れたら、こて先の温度は200~480℃の高温に達します。取扱いを誤ると、やけど・火災の恐れがありますので、以下の注意事項を必ず守ってください。
- こて先周辺の金属部に触れないでください。
- 燃えやすいもの近くで使用しないでください。
- 周囲の人に「高温につき危険である」ことを知らせてください。
- 使用を中断または終了する時や、その場を離れる時は電源を切ってください。
- 部品交換時や収納時は必ず電源を切り、十分に冷えたことを確認してください。
- 管理責任者の許可なく、経験や知識のない者 (子供を含む) が、この製品を使用しないように注意してください。
- 子供がこの製品で遊ばないように注意してください。
- 電源コードが断線した場合は、危険を避けるため、メーカーもしくはサービス代理店、同等の資格がある人に交換してもらい必要があります。

- 事故や故障につながりますので、以下の注意事項を必ず守ってください。
- 取扱説明書に書いてあること以外の用途で使用しないでください。
- はんだかすを取るために、こてを作業台に打ちつけるなど強い衝撃を与えないでください。
- 本品を改造しないでください。
- 交換部品には、純正部品を使用してください。
- 製品を濡らさないでください。また、濡れた手で使用しないでください。
- コードの抜き差しはプラグを持って行ってください。
- はんだ付けする際、煙が発生するので、よく換気をしてください。
- その他危険と思われる行為は行わないでください。

4. 使用方法

- A. こて台
- 本品は圧縮タイプのスポンジを使用しています。水に濡らすと膨張します。必ず水で濡らしてお使いください。
 - 1. スポンジ小をこて台ベースの凹部に入れます。
 - 2. こて台ベースに水を適量入れます。スポンジ小が水を吸い上げ、いつも湿った状態を保てます。
 - 3. スポンジ大を水に濡らし、こて台ベースに置きます。

※クリーニングワイヤーを使用する場合「5.メンテナンス」の「3.クリーニングワイヤーを使用」を参照してください。

- B. 接続
- 接続
 - こて接続コードとレセプタクルの抜き差しの際は必ず電源を落とした状態で行ってください。電源が入ったままでは基板が壊れる可能性があります。
 - 1. こて接続コードとレセプタクルを接続します。

- 注意
- ・ハッコーFX-8801以外のこてを使用した場合、仕様通りの性能が出ない可能性があります。
- 2. こて部をこて台に置きます。
- 3. 電源プラグをコンセントに差し込みます。

- C. 温度設定
- 1. 温度調節つまみで温度を設定します。
 - 2. 温度調節つまみをロックします。
- 本品は温度調節つまみにロック機能がついています。(右図参照)
温度設定後、付属の六角レンチを右に回して、ノブマウント内の六角穴付ボルトを締めます。

- 注意
- ・六角穴付ボルトを締めすぎないように注意してください。
- ・ロックした状態で温度調節つまみを回さないようにしてください。

4. 使用方法

- D. 電源スイッチを入れる
- 設定温度に達するとヒーター通電ランプが点滅します。この時点でははんだ付け可能です。
- 注意
 - ・使用しない時は、こて部をこて台に置いてください。
 - ・長時間使用しない時は電源を落としてください。

- E. 使用後
- 作業が終わりしたら、こて先をきれいにぬぐい、新しいはんだで先端を覆ってください。

5. メンテナンス

製品を長く、よりよくお使いいただくため、定期的にメンテナンスを実施してください。使用する温度や、はんだ・フラックスの質・量によって製品の消耗の度合いが違いますので、使用状況に応じてメンテナンスを行なってください。

警告

本機は高温となりますので、作業には十分ご注意ください。また、特に指示のある所以外では、必ず電源を切り電源コードを抜いておいてください。

●こて先のメンテナンス

1. 温度を250℃に設定します。
2. 温度が安定したらクリーニングスポンジでこて先をぬぐい、こて先を点検します。
3. はんだめつき部に黒い酸化物が付着している場合は、新しいはんだ (フラックス含有) を送り、クリーニングスポンジで拭き取ります。酸化物がとれるまで繰り返してください。その後、新しいはんだで覆ってください。
4. こて先が変形していたり、消耗が激しい場合は交換してください。

注意

酸化物を取るためにやすりがけしないでください。

こて台を利用したこて先クリーニング法
1. クリーニングスポンジを使用



2. マウスキャップを使用



3. クリーニングワイヤーを使用
クリーニングワイヤーを使用する場合は右に示すように、肩受けに置いてください。



セット品に含まれているクリーニングスポンジを使用してこて先をぬぐいます。
軽くはんだをぬぐうことから酸化物を除去することまで広汎的に使用できます。

左のようにマウスキャップでもこて先をぬぐうことが可能です。
軽くはんだをぬぐう時等に使用します。

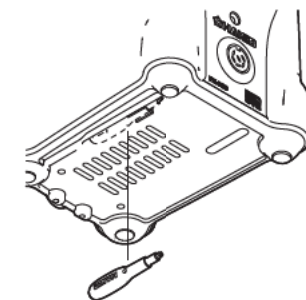


マウスキャップやクリーニングスポンジでなかなかぬぐいとれない付着物がある場合、クリーニングワイヤーを用いると除去し易くなります。

注記:

肩受けにはんだくずが溜まりましたら、同じ要領で肩受けを取り外してはんだくずを捨ててください。

1. こて側の接続プラグをステーションのレセプタクルに差し込みます。
2. 温度調節つまみを350℃に設定します。
3. 電源スイッチを入れ、温度が安定するまで待ちます。CAL用フタを取りはずします。
4. こて先温度が安定したら、こて先温度計を用いてこて先温度を測ります。付属のCAL調整用ドライバーをステーションのCAL表示のある穴に差し込み、こて先温度が350℃になるまで調節します。

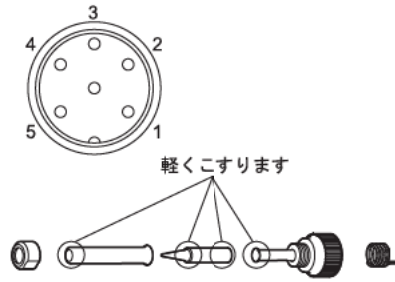


5. メンテナンス

接続コードのプラグをはずし、こて部のピン間の抵抗値を測定してください。

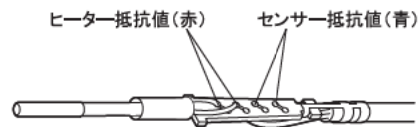
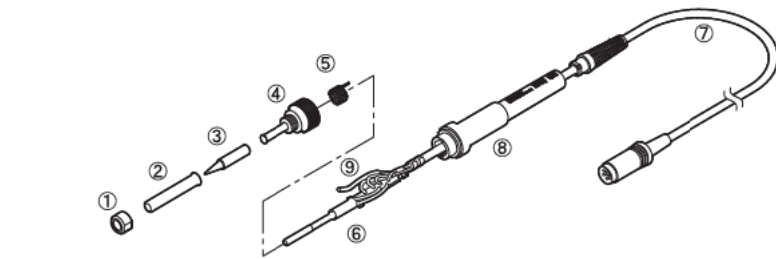
a, bの値が表の数値と異なる場合は、ヒーター（センサー）が接続コードを交換してください。cの値が表の数値を超える場合は右図のようにサンドペーパーかスチールワールで軽くこすり、酸化物を取り除いてください。

a. ピン4-5間(ヒーター)	2.5~3.5Ω (常温時)
b. ピン1-2間(センサー)	43~58Ω
c. ピン3-こて先	2Ω以下



● 分解の仕方

1. ヒーター/センサー切れ



1. 袋ナット①を左に回し、保護パイプ②とこて先③をとりはずします。
2. ニップル④を左に回して取りはずします。
3. こて先側にヒーター⑥とコード⑦を引っ張り、グリップ⑧からはずします。
4. アーススプリング⑤をターミナル⑨のスリーブより抜き取ります。

※ヒーターは常温時に測定してください。

1. ヒーター抵抗値(赤)25~3.5Ω
 2. センサー抵抗値(青)43~58Ω
- 抵抗値が異常な場合は、ヒーターを交換してください。(交換方法は交換部品付属の説明書を参照)

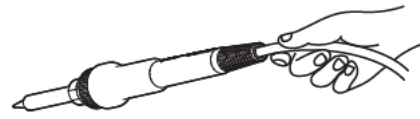
交換後

- ①ピン4とピン1またはピン2の間/ピン5とピン1またはピン2の間の抵抗値が∞で無い場合、ヒーターとセンサーが接触しています。基板を傷める原因となりますので、接触しないよう組み立ててください。
- ②リード線がねじれていないか、アーススプリングは正しく接続されているか確認するため“a”“b”“c”の抵抗値を測定してください。

1. 温度を480℃に設定し、接続コードを様々な角度からコードブッシュの部分も含め、ねじったり曲げる等します。通電ランプが点滅する場合、コードを交換してください。

⚠ 注意

接続コードが正常でも、480℃に達すると点滅します。



2. プラグのピンとターミナルリード線の間の抵抗値を測定します。
ピン1-赤 ピン2-青 ピン3-緑 ピン4-白 ピン5-黒
抵抗値:0Ω
0Ωより大きい、または∞の場合、交換してください。

⚠ 注意

■ 静電気対策品への取り扱い注意

本製品は、プラスチックへの導電性付与、こて部・ステーション部の接地といった静電気対策が施されていますので、下記の注意を厳守してください。

1. グリップなどのプラスチックは、絶縁物ではなく導電性プラスチックです。修理時には十分注意を払い、活電部の露出・絶縁材の損傷がない様部品交換、修理を行なうこと。
2. 必ず接地して使用すること。

6. トラブル発生時に

⚠ 警告

- 内部点検や部品交換の際、電源プラグは必ず抜いてください。感電の恐れがあります。
- 電源コードが断線した場合は危険を避けるため、メーカーもしくはサービス代理店、同等の資格のある人により交換される必要があります。

- 電源スイッチを入れても動作しない。

点検: 電源コードまたは接続プラグが外れていませんか。
対処: 接続する。
点検: ヒューズが切れていませんか。
対処: なぜヒューズが切れたのか原因を確認した後、ヒューズを交換してください。
a. こて部の中でショートしていませんか。
b. アーススプリングがヒーターに接触していませんか。
c. ヒーターリード線がねじれたり短絡したりしていませんか。
原因が分からない場合にも、交換してください。再びヒューズが切れる場合には、修理のため本体ごと送り返してください。

- ヒーター通電ランプは点灯しているが、こて先が熱くならない。

点検: 接続コードが断線していませんか。ヒーター/センサーは切れていませんか。
対処: 本書の接続コードの断線およびヒーター/センサー切れの調べ方の項を参照してください。

- こて先が熱くなったりならなかったりする。

点検: 接続コードが断線していませんか。
対処: 接続コード断線の調べ方の項を参照してください。

- こて先にはんだが乗らない。

点検: こて先の設定温度が高すぎませんか。
対処: 適正温度に設定してください。
点検: こて先に酸化物が付着していませんか。
対処: 酸化物を取り除いてください。(こて先のメンテナンスの項を参照してください。)

- こて先温度が低すぎる。

点検: こて先に酸化物が付着していませんか。
対処: 酸化物を取り除いてください。(こて先のメンテナンスの項を参照してください。)
点検: 温度校正はあっていますか。
対処: 正しく校正してください。

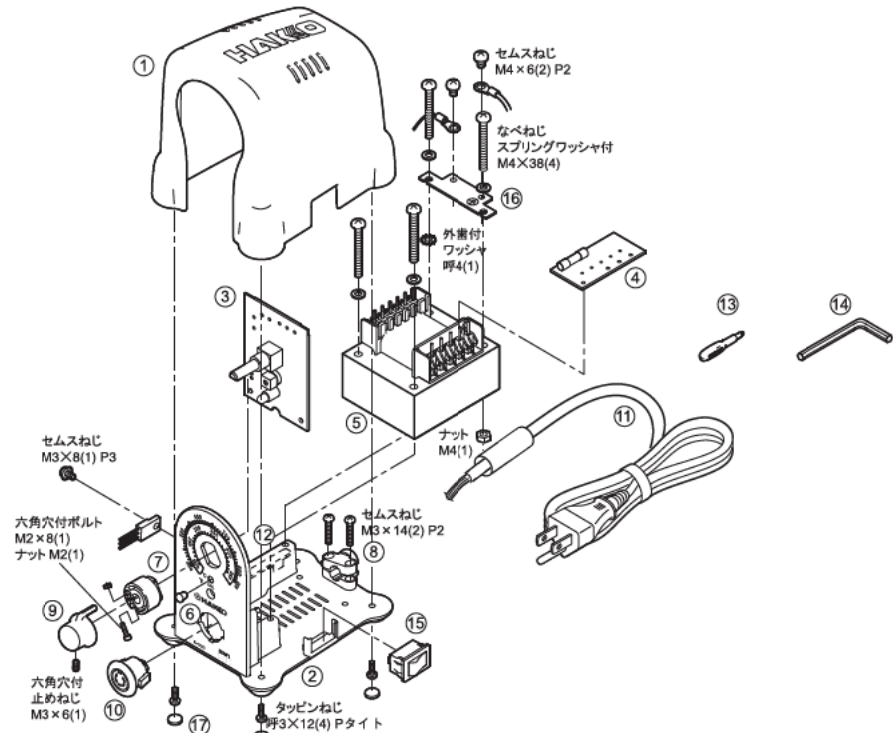
- こて先がはずれない。

点検: こて先にヒーターが焼きついていませんか。またこて先劣化によって膨張していませんか。
対処: こて先とヒーターを交換してください。

- 希望の設定温度がでない。

点検: 温度校正はあっていますか。
対処: 正しく校正してください。

7. 部品リスト(ステーション)

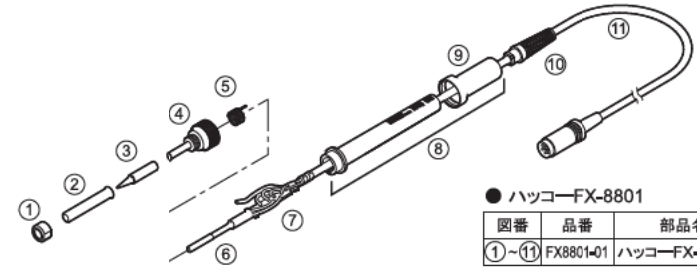


● ハッコ―FX-888ステーション

図番	品番	部品名	仕様
①	B3450	ケース上/BY	
	B3451	ケース上/BK	
	B3452	ケース上/SV	
	B3453	ケース上/RD	
②	B3454	シャーシ/イエロー	BY用
	B3455	シャーシ/グレー	BK, SV, RD用
③	B3456	基板/制御用	
④	B3721	基板/ヒューズ用	ヒューズ, ゴム足付 100V
⑤	B3458	トランス	100~110V
⑥	B3459	CAL用フタ	
⑦	B3460	ノブマウント	

図番	品番	部品名	仕様
⑧	B3461	コードストッパー	
⑨	B3462	ツマミ	六角穴付止めねじ付
⑩	B3463	レセプタクル	
⑪	B3464	電源コードゴム2極接地型	チューブ付
⑫	B3465	ドライバーホルダー	
⑬	B3466	CAL調整用ドライバー	
⑭	B2017	六角レンチ	
⑮	B2852	スイッチ	
⑯	B2227	アースプレート	
⑰	B2405	ゴム足	4個入り

7. 部品リスト(こて・こて台)



● ハッコ―FX-8801

図番	品番	部品名	仕様
①~⑪	FX8801-01	ハッコ―FX-8801	

● はんだこてパーツ

図番	品番	部品名	仕様
①	B1785	袋ナット	
②	B3469	保護パイプ	
③		こて先	「8.こて先の種類」参照
④	B2022	ニップル	
⑤	B2032	アーススプリング	
⑥	A1560	ヒーター	
⑦	B2028	ターミナル	コードストッパー付
⑧	B3470	グリップ	断熱カバー付
⑨	B3471	断熱カバー	
⑩	B3467	コードブッシュ	
⑪	B3468	こて接続コード	

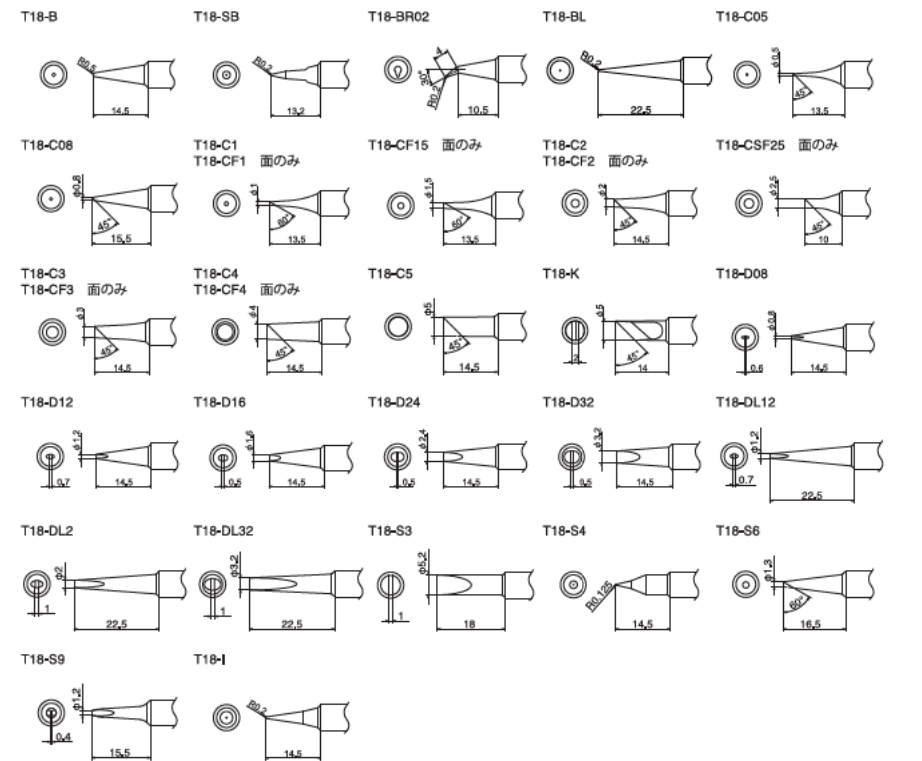
● ハッコ―FH-800 こて台

図番	品番	部品名	仕様
①~⑤	FH800-01BY	ハッコ―FH-800	ブルー・イエロー
①~⑤	FH800-01SV	ハッコ―FH-800	シルバー

● こて台パーツ

図番	品番	部品名	仕様
①	A1559	クリーニングスポンジ	
②	B3472	こて台本体Pキップ付	BY ゴム足付
	B3473	こて台本体Pキップ付	SV ゴム足付
③	B3474	マウスキャップ	
④	B3475	肩受け	ゴム足付
⑤	B3476	スライドロック	
⑥	A1561	クリーニングワイヤー	

8. こて先の種類



※指定外のこて先を用いた場合、仕様通りの性能がでない可能性があります。必ず上記指定のこて先をご利用ください。